

2016 年 1 月 30 日 (土) **January 30, 2016 (Sat)**

10:00 開会挨拶

10:15 ~ 11:15 口頭発表① Oral Session 1

- O-1 高磁場 MRI による霊長類の脳神経回路構造の比較研究
○酒井朋子¹、畑純一²、太田裕貴³、小川優樹³、新宅勇太⁴、大石健一⁵、森進⁵、
岡野ジェイムス洋尚³、濱田穰⁶、岡野栄之^{1,2} (¹ 慶應義塾大学医学部生理学教室、² 理化学
研究所脳科学総合研究センター、³ 東京慈恵会医科大学再生医学研究部、⁴ 公益財団法人日本
モンキーセンター、⁵ Department of Radiology, Johns Hopkins University School of Medicine、
⁶ 京都大学霊長類研究所)
- O-2 飼育下のケナガクモザルで長期間維持されていたと考えられる蟻虫感染について
岡本宗裕¹、木村直人²、岡部直樹²、廣川類²、根本慧²、新美幸¹、新宅勇太^{2,3}、早川卓志^{1,2}、
伊谷原一^{2,3} (¹ 京都大学霊長類研究所、² 公益財団法人日本モンキーセンター、³ 京都大学
野生動物研究センター)
- O-3 霊長類に特異的な遺伝子 PIPSL の起源と進化
○大島一彦、松村研哉 (長浜バイオ大学)
- O-4 ABS 対応に向けた日本モンキーセンター所蔵の生物学資料の再評価
○新宅勇太 (公益財団法人日本モンキーセンター、京都大学野生動物研究センター)

11:15 ~ 11:30 休憩 Coffee Break

11:30 ~ 12:15 口頭発表② Oral Session 2

- O-5 フクロテナガザル人工哺育仔の早期社会化のための群れ戻し
○石田崇斗¹、山田将也¹、根本慧¹、鏡味芳宏¹、綿貫宏史朗^{1,2}、打越万喜子^{1,2}、堀込亮意¹、
木村直人¹、伊谷原一^{1,3} (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、
³ 京都大学野生動物研究センター)
- O-6 高知県立のいち動物公園のチンパンジー集団における、二卵性のふたごとおとなとの
近接関係の 4 年間の変化
岸本健¹、安藤寿康²、多々良成紀³、山田信宏³、友永雅己⁴ (¹ 聖心女子大学、² 慶應義塾大学、
³ 高知県立のいち動物公園、⁴ 京都大学霊長類研究所)
- O-7 「高い高い」にみる対面コミュニケーションの種間比較
○川上文人^{1,2}、Chloe Gonseth、市野悦子¹、平栗明実¹、林美里¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、
² 日本学術振興会)

12:15 ~ 13:30 休憩 Break

13:30 ~ 14:30 口頭発表③ Oral Session 3

O-8 岡山県高梁市に残る威猿信仰について

川本芳¹、伊左治美奈²、田村啓介³、三戸幸久⁴、毛利俊雄¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 東北野生動物保護管理センター、³ 高梁市教育委員会、⁴ 相山女学園大学)

O-9 ボノボに対する食物禁忌はどのように守られてきたか—コンゴ民主共和国民族集団
ボンガンドの調査から—

○横塚彩 (京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)

O-10 毛小皮紋理の形態を用いた野生ヒョウに捕食される霊長類の比較解析

○仲澤伸子¹、新宅勇太^{1,2}、早川卓志^{2,3} (¹ 京都大学野生動物研究センター、² 公益財団法人
日本モンキーセンター、³ 京都大学霊長類研究所)

O-11 ヒト上科霊長類における歯周病

○矢野航¹、橋本千絵²、清水大輔³ (¹ 朝日大学歯学部、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学大学院理学研究科)

14:30 ~ 14:45 休憩 Coffee Break

14:45 ~ 16:15 口頭発表④ Oral Session 4

O-12 ニホンザルにおける行為主体性にもとづいた追跡事象の知覚

○渥美 剛史、香田啓貴、正高信男 (京都大学霊長類研究所)

O-13 ニホンザルにおけるヘビ画像に対する注意バイアス

○佐藤まどか、香田啓貴、正高信男 (京都大学霊長類研究所)

O-14 ボリビアリスザルは昆虫食に適した味覚を持つ

○早川卓志^{1,2}、栗原洋介²、今井啓雄²、三坂巧³ (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 東京大学大学院農学生命科学研究科)

O-15 野生ジャワルトンの苦味受容体遺伝子の多様性解析

○鈴木 - 橋戸南美¹、早川卓志^{1,2}、Laurentia Henrieta Permita Sari Purba³、Sarah Nila³、
Kanthi Arum Widayati³、Bambang Suryobroto³、今井啓雄¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本モンキーセンター、³ ボゴール農科大学)

O-16 Functional characterization of bitter taste perception in leaf-eating monkeys

○Laurentia Henrieta Permita Sari Purba¹、Kanthi Arum Widayati¹、Sarah Nila¹、Kei Tsutsui²、
Nami Suzuki-Hashido²、Takashi Hayakawa²、Bambang Suryobroto¹、Hiroo Imai²
(¹Department of Biology, Bogor Agricultural University, Indonesia, ²Primate Research
Institute, Kyoto University, Japan)

- O-17 The vocal repertoire of Tibetan macaques (*Macaca thibetana*): A quantitative classification and a comparative perspective
○ Sofia K. Bernstein¹, Lori K. Sheeran^{2,3}, R. Steven Wagner^{3,4}, Jin-hua Li⁵, Hiroki Koda¹
(¹ Primate Research Institute, Kyoto University, Japan, ²Department of Anthropology and Museum Studies, Central Washington University, USA, ³Primate Behavior and Ecology Program, Central Washington University, USA, ⁴Department of Biological Sciences, Central Washington University, USA, ⁵School of Life Science, Hefei Normal University, China)

16:30 ~ 18:00 ポスターセッション Poster Session

2016 年 1 月 31 日 (日) January 31, 2016 (Sun)

10:00 ~ 10:45 口頭発表⑤ Oral Session 5

- O-18 フサオマキザルにおける年齢カテゴリー弁別
○川口ゆり¹、黒島妃香²、藤田和生² (¹ 京都大学文学部、² 京都大学大学院文学研究科)
- O-19 学校貸出し用事前学習教材の開発
○赤見理恵¹、高野智¹、江藤彩子¹、小比賀正規² (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 愛知教育大学大学院)
- O-20 公益財団法人日本モンキーセンターの霊長類を対象とした科学研究実践活動
○大久保直美、○川嶋梨湖、○近藤絢子、浅井梨那、○高木美智、小栗乃衣梨、○山田若奈、○寺澤奈那、黒木美里、宮田花梨、前川幸代 (南山高等・中学校女子部中高生の科学研究実践活動推進プログラム霊長類学入門)
- 10:45 ~ 11:00 休憩 Coffee Brake
- 11:00 ~ 12:00 口頭発表⑥ Oral Session 6
- O-21 日本モンキーセンターでのヤクニホンザルのイモ洗い行動について
○山田将也¹、鏡味芳宏¹、石田崇斗¹、綿貫宏史朗^{1,2}、新宅勇太^{1,3}、堀込亮意¹、木村直人¹、伊谷原一^{1,3} (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所、³ 京都大学野生動物研究センター)
- O-22 オランダの動物園における霊長類の混合飼育実施状況について
○綿貫宏史朗^{1,2}、田中ちぐさ²、岩原真利¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- O-23 身体障害をもつチンパンジーにおける認知課題を用いた歩行リハビリテーションの導入
○櫻庭陽子^{1,2}、友永雅己¹、林美里¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会)

- O-24 高知県立のいち動物公園における脳性麻痺チンパンジーへの発達支援へのとりくみ
○高塩純一¹、山田信宏²、高橋一郎³、下元佳子⁴、竹下秀子⁵、川上文人^{6,7}、林美里⁷、
水野友有⁸、友永雅己⁷（¹びわこ学園医療福祉センター草津、²公益財団法人高知県のいち
動物公園協会、³オフアーズ訪問看護ステーションおたすけまん、⁴生き生きサポートセンター
うえるぱ高知、⁵滋賀県立大学人間文化学部、⁶日本学術振興会、⁷京都大学霊長類研究所、
⁸中部学院大学子ども学部）
- O-25 飼育下霊長類の社会性とストレス ―チンパンジーとスローロリスを対象に―
○山梨裕美（京都大学野生動物研究センター）

ポスターセッション Poster Session

- P-1 Why did humans start wearing clothes?
○ Rachel Ahn (North London Collegiate School Jeju, Korea)
- P-2 ヒト上科における肘関節の進化
○ 高野智 (公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-3 屋久島のニホンザルにおける腸内細菌叢の季節変動
○ 澤田晶子¹、栗原洋介¹、早川卓志^{1,2} (¹ 京都大学霊長類研究所、² 公益財団法人日本モンキーセンター)
- P-4 低順位のニホンザルは魚を食べられるか?
○ 高橋明子 (京都大学野生動物研究センター)
- P-5 ボノボの母と移出した娘の社会的関係
○ 戸田和弥、徳山奈帆子、Heunjin Ryu、坂巻哲也、古市剛史 (京都大学霊長類研究所)
- P-6 繁殖期のワオキツネザルのオスは臭腺分泌物質をどのような目的で利用しているのか
○ 糸井川壮太¹、早川卓志^{2,3}、今井啓雄³ (¹ 京都大学理学部生物科学専攻、² 公益財団法人日本モンキーセンター、³ 京都大学霊長類研究所)
- P-7 アビシニアコロブス新生子に対する群れの養育行動の変化
○ 奥村太基¹、根本慧¹、廣川類¹、菊田恭介¹、打越万喜子^{1,2}、綿貫宏史朗^{1,2} (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所)
- P-8 カメラトラップで明らかになったリベリア共和国パラにおける野生チンパンジーの道具使用行動
○ 大橋岳 (中部大学)
- P-9 居住空間の拡大によるチンパンジーの行動および滞在場所の変化
○ 林美里¹、Anne-Claire Artemis Idoux²、Raquel Costa³、前田典彦¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² National Veterinary School of Toulouse、³ Center of Investigation in Anthropology, CRIA/FCSH, Lisbon)
- P-10 チンパンジー集団を対象としたトークン使用の社会実験
ー チンパンジーは将来に備えて「投資」するか?
○ 黒澤圭貴¹、川上文人^{1,2}、友永雅己¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会)
- P-11 チンパンジーにおける「数の勉強」のあたらしい課題：ドットの個数とアラビア数字の見本合わせ
○ 村松明穂^{1,2}、松沢哲郎¹ (¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会特別研究員)

- P-12 The rock-paper-scissors game in chimpanzees (*Pan troglodytes*)
○ Jie Gao¹, Yanjie Su², Masaki Tomonaga¹, Tetsuro Matsuzawa¹ (¹Primate Research Institute, Kyoto University, ²Department of Psychology, Peking University)
- P-13 チンパンジーにおける音源弁別学習
○ 瀧山拓哉¹、服部裕子^{2,3}、松沢哲郎³ (¹ 京都大学理学部、² 京都大学野生動物研究センター、³ 京都大学霊長類研究所)
- P-14 Distractor effect of auditory rhythms on self-paced tapping in chimpanzees and humans
○ Yuko Hattori^{1,2}, Masaki Tomonaga², Tetsuro Matsuzawa² (¹Wildlife Research Center, Kyoto University, ²Primate Research Institute, Kyoto University)
- P-15 Blushing and embarrassment signals in primate sociality
○ Gaspard van Hamme (Jane Goodall Institute of South Africa - Chimp Eden)
- P-16 Attentional capture and disengagement as a way of assessing emotional state in captive chimpanzees: A research plan
○ Duncan Wilson, Masaki Tomonaga (Kyoto University Primate Research Institute)
- P-17 視線はコミュニケーション？視線を避けるサルの視線認識
○ 村井千寿子¹、友永雅己² (¹ 玉川大学脳科学研究所、² 京都大学霊長類研究所)
- P-18 飼育下チンパンジーにおける母親の拍手行動の出現と減少
○ 平栗明実¹、川上文人^{1,2}、市野悦子¹、Chloe Gonseth、Anne-Claire Idoux³、林美里¹
(¹ 京都大学霊長類研究所、² 日本学術振興会、³ National Veterinary School of Toulouse)
- P-19 飼育チンパンジーにおける性周期の認知実験参加への影響
○ 市野悦子、友永雅己 (京都大学霊長類研究所)
- P-20 飼育下チンパンジー (*Pan troglodytes*) における出産後の性皮腫脹と性ステロイドホルモン濃度動態について
○ 木下こづえ¹、奥村文彦²、星野智紀²、廣澤麻里^{2,3}、中尾汐莉²、坂口真悟²、綿貫宏史朗^{1,2}、岡部直樹^{2,3}、木村直人²、伊谷原一^{2,3}、市野悦子¹、高島友子¹、林美里¹、岡本宗裕¹
(¹ 京都大学霊長類研究所、² 公益財団法人日本モンキーセンター、³ 京都大学野生動物研究センター)
- P-21 チンパンジー (*Pan troglodytes*) における精子運動率の時間変化に関する基礎的研究
○ 印藤頼子¹、奥村文彦²、早川卓志^{1,2}、伊谷原一^{2,3}、岡本宗裕¹、木下こづえ¹
(¹ 京都大学霊長類研究所、² 公益財団法人日本モンキーセンター、³ 京都大学野生動物研究センター)
- P-22 日本モンキーセンターにおける周産期新生仔期死亡について
～過去 10 年間の分析と今後の課題～
○ 木村直人¹、岡部直樹^{1,2} (¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター)

P-23 レッサースローロリスの口内検診

○寺尾由美子¹、岡部直樹^{1,2}、廣澤麻里^{1,2}、木村直人¹（¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学野生動物研究センター）

P-24 Making pellet diet taste better to marmosets (*Callithrix jacchus*)

○ Claire F I Watson¹, Christine A Caldwell²（¹ Primate Research Institute of Kyoto University, ² University of Stirling, UK）

P-25 モンキーセンターにおける飼料の変化 ～動物福祉を目指した飼料品目改善～

○安倍由里香、根本真菜美、今井由香、廣川百恵、大岡幸男（公益財団法人日本モンキーセンター）

P-26 モンキーセンターにおけるワオキツネザルの血統とその管理

○田中ちぐさ、廣川百恵、中尾汐莉、杉浦直樹（公益財団法人日本モンキーセンター）

P-27 飼育下霊長類のためのみどりある環境

○廣澤麻里（公益財団法人日本モンキーセンター、京都大学野生動物研究センター）

P-28 ウガンダ西部における子どもたちの動物と森との関係性について

○有賀菜津美、橋本千絵（京都大学霊長類研究所）

P-29 学ぶ！観る！リスザルのおやつ作り体験

○荒木謙太、三宅菜穂美、長谷川裕士、大島悠輝、三井桃依（公益財団法人日本モンキーセンター）

P-30 国際テナガザル年 -2015：日本モンキーセンターでの教育普及活動

○打越万喜子^{1,2}、綿貫宏史朗^{1,2}、山田将也¹、石田崇斗¹、高野智¹（¹ 公益財団法人日本モンキーセンター、² 京都大学霊長類研究所）

P-31 「理想の動物園」を目指す公益財団法人・日本モンキーセンターの現状への一考察

○柴田永治